# CASBEE® 京都-新築　標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版　使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018（v.1.0）

## 1-1 建物概要

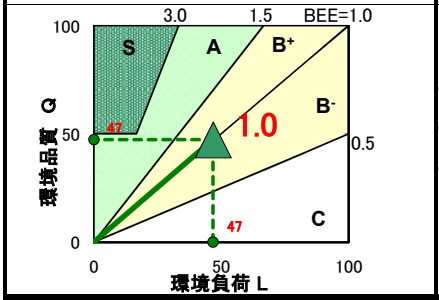
| | | | |
|---|---|---|---|
| 建物名称 | （仮称）エルシード京都松原通計画 | 階数 | 地上5F |
| 建設地 | 京都府京都市下京区松原通烏丸東入る杉目町330-1、330-2、330-3、330-11、330-4、烏丸通北側に面する北端町394番一部、395番一部 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 250 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年（想定値） |
| 建物用途 | ホテル, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年9月　予定 | 評価の実施日 | 2020年1月14日 |
| 敷地面積 | 750.94 ㎡ | 作成者 | 株式会社 アクセス都市設計湯浅 勝也 |
| 建築面積 | 604.99 ㎡ | 確認日 | 2020年1月15日 |
| 延床面積 | 2,781.64 ㎡ | 確認者 | 株式会社 アクセス都市設計湯浅 勝也 |

## 1-2 外観

## 2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

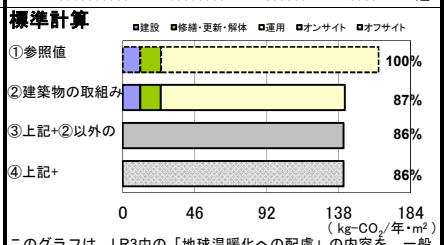
BEE =1.0 ★★★☆☆

S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



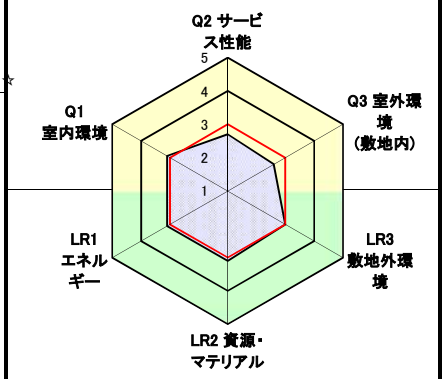

## 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆




このグラフは，LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を，一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

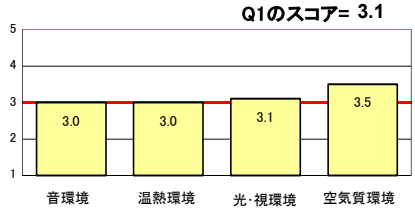
## 2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



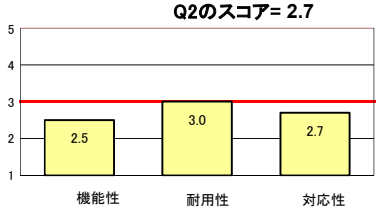

## 2-4 中項目の評価（バーチャート）

### Q 環境品質　　Q のスコア= 2.8

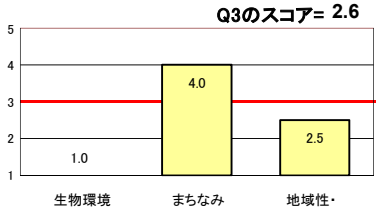
**Q1 室内環境**　Q1のスコア= 3.1




**Q2 サービス性能**　Q2のスコア= 2.7

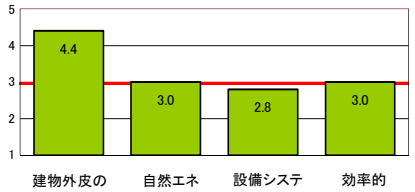



**Q3 室外環境（敷地内）**　Q3のスコア= 2.6

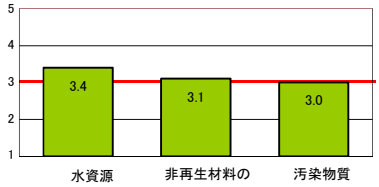



### LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

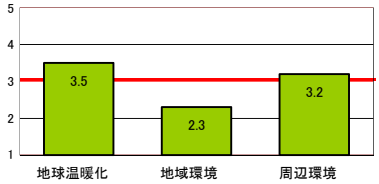
**LR1 エネルギー**　LR1のスコア= 3.1




**LR2 資源・マテリアル**　LR2のスコア= 3.1




**LR3 敷地外環境**　LR3のスコア=3.0




## 3 設計上の配慮事項

| 総合 | | その他 |
|---|---|---|
| 地域の文化・伝統を生かした外観デザインで、地域のシンボルとして新たに地域住民や観光客が集うように計画している。屋上に格子を設置し、設備機器が露出しないように配慮している。 | | 特に無し。 |
| **Q1 室内環境** | **Q2 サービス性能** | **Q3 室外環境（敷地内）** |
| 内装材に使う全ての下地、仕上は、Ｆ☆☆☆☆製品 | 内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。 | 屋上庭園を設置している。 |
| **LR1 エネルギー** | **LR2 資源・マテリアル** | **LR3 敷地外環境** |
| LED照明、太陽光パネルを設置している。 | 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。 | 光害の抑制に努めた。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクル$CO_2$」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクル$CO_2$排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される